

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	平成29年度第2回岩倉市地域公共交通会議
開催日時	平成29年11月22日(火) 午前10時から午前11時15分まで
開催場所	岩倉市役所7階 第3委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	中部大学 磯部委員、名鉄バス株式会社 近藤委員(平塚代理)、名鉄西部交通株式会社 久留宮委員、愛知県タクシー協会 松浦委員、中部運輸局愛知運輸支局 杉本委員(森代理)、愛知県 桑原委員(石屋代理)、愛知県一宮建設事務所 八森委員、江南警察署 山田委員(小川代理)、区長会長 浅田委員、民生委員児童委員協議会代表 河村委員、老人クラブ連合会代表 赤堀委員、公募 太田委員、岩倉市長 久保田委員 欠席委員：愛知県バス協会 古田委員、名鉄西部交通労働組合 大野委員 事務局：山田総務部長、佐野秘書企画課長、小出統括主査、渡邊主任、小松協働推進課長、小崎統括主査、早川主任
会議の議題	(1) 岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について (2) 岩倉市内バス路線の利用実績について
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
会議に提出された資料の名称	・次第 ・岩倉市地域公共交通会議委員名簿 ・デマンド型乗合タクシーの実績(平成29年10月まで) ・デマンド型乗合タクシー当日窓口予約便実施結果報告書 ・岩倉駅乗入路線バス乗降者数一覧表 ・路線バス図 ・次世代タクシー資料(パンフレット・新聞切抜き)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

2 報告事項

資料2、3について、小崎統括主査から説明

（1）岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について

森委員代理：予約の不成立が多いが、不成立だった場合は別の時間の予約を取っているのか。

事務局：電話に出ることができなかった場合は折り返し電話をしている。希望の時間に予約が取れなかった場合は丁寧な対応で乗り合いのお願いもしているが、なかなか乗車につながらない。

森委員代理：予約の不成立が多く、乗車人数も減ってきているが、運行の見直しの予定はあるか。

事務局：実証運行から5年が経過するので、今後大きな見直しを含めて検討したい。

石屋委員代理：岩倉市のデマンド型乗合タクシーは誰が利用できて、どこへ行けるのか。

事務局：65歳以上、障害者手帳を持っている、妊婦、就学前児童とその保護者、免許返納者等が利用でき、市内の公共施設や医療機関等と自宅を乗降地に設定している。

浅田委員：平成28年度に比べて利用者が減っているが要因は把握しているか。

事務局：平成29年度は7月までは前年と大きく変わらないが、8月から10月で大きく利用者が減っている。理由としては、平成28年度に実施したさくらの家での試験運行と登録者へのアンケート調査の効果もあって平成28年度は他に比べて利用者が多かった。また、今年は8月から10月に雨や台風等の天候不良が多かったせいではないかと考えている。

浅田委員：医療機関への利用が多いのであれば、天候不良くらいではそれほど影響は受けないのではないか。

事務局：緊急を要する通院ではないのではないかと思う。平成28年度と比較すると利用者が減少しているが、平成27年度と比較すると同程度の実績である。

磯部会長：利用者が減っているのは気がかりではあるし、そうであるなら予約不成立はもったいない。デマンド型乗合タクシーは乗合が当たり前だという雰囲気作りが大切である。

資料4、5について、小出統括主査から説明

（2）岩倉市内バス路線の利用実績について

石屋委員代理：岩倉一間内線は国庫補助を受けている路線で、毎年国の事業評価を受けている。

岩倉市にも停留所があるので、利用促進、分析に努めてもらいたい。

磯部会長：地域公共交通会議はデマンド型乗合タクシーだけでなく、公共交通全体を議論する場なので、路線バスについての議論も対象となる。路線バスは小牧市や一宮市の公共交通施策とも密接に関係がある。

浅田委員：岩倉一小牧間の利用者が減少しているが、名鉄バスとして対策はしているか。

平塚委員代理：運行ダイヤの見直しやバスの位置情報配信アプリの導入等を行っているが、起爆剤となるような効果的な手段がない。利用者からは、岩倉一小牧間は渋滞が多く時間が読めないため通勤に使いにくい等の声がある。

浅田委員：岩倉一小牧間は小牧から岩倉駅への利用者が多いのか。

平塚委員代理：岩倉一小牧間は双方向の利用がある。例えば、岩倉からは小牧市民病院への移動手段としての利用が多い。

市長：八剣町と中本町の葭原の間にある一宮春日井線の整備をこれから進める予定だが、これが完成すれば、岩倉一小牧間のバスが通る道路の渋滞緩和にも期待ができる。岩倉一小牧間の利用者の減少の一因として、小木や岩倉団地に住んでいて岩倉駅を使って名古屋に通勤する人が減少したのではないかと思う。

赤堀委員：一宮一九日市場線を岩倉駅まで延伸してもらえば利用者が増えるのではないか。この路線は住宅も増えているし、企業誘致も進めているので検討してもらいたい。

市長：北島、野寄は交通空白地帯なので、延伸はお願いしたい。

磯部会長：延伸が必要な路線なのであれば、様々な方法を検討する必要がある。

### 3 その他

次世代タクシーの導入について久留宮委員より説明

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

平成 30 年 1 月 17 日

岩倉市地域公共交通会議

会長

磯部友孝

